

レース本部艇 運営基準

ビスカレース委員会

基本原則

ビスカレースの本部艇担当に際しては、本書に従って運営すること。

その他、対象レースの案内書、ビスカレース参加規程、艇長会議での指示事項、及び関係者からのアドバイスも参考に、レース運営者としての自覚と、責任をもって任に当たる事。

準備

- ◆ 本部艇と乗員確保……
年間レース予定、又関係者から本部艇を依頼された場合は、艇とその乗員確保を自主的に行って下さい。
- ◆ 道具類の引継ぎ・点検……
レースに先立って、前回本部艇より道具の引継ぎを受け、事前点検をしておく。
マーク・アンカー・ロープ・旗竿・道具ケース(スピーカー・電動ホーン・電動ポンプ・信号旗・本部艇横幕……)
- ◆ 乗員にて準備する物……
時計・筆記具・関係書類・携帯電話・双眼鏡・**(電波時計も117番で再確認の事)**
- ◆ 事前打合せ……
(時報ジャスト時刻で信号・記録の事)
レース日の数日前に、準備確認・運営アドバイス・注意点・・を口又は文面にて連絡します。
- ◆ エントリー表……
前夜 ML メール・FAX・などにて発信しますので持参の事。(当日その他書類持参引渡します)

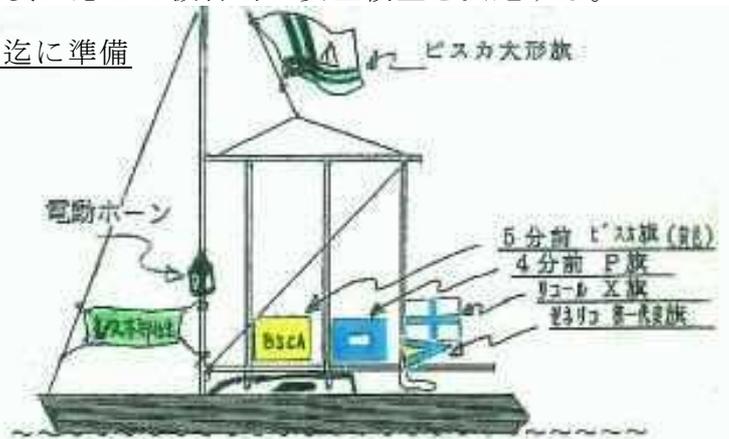
艇長会議ありの場合

- ◆ 受付……帆走指示書配布・出艇申告書回収・エントリー表消込み……。
- ◆ 帆走指示の説明……要点説明・注意事項・事故時対応策・短縮予測・口連絡・質疑……。
- ◆ 安全検査……レース案内書に従い、また必要に応じて抜打的に安全検査を実施する。

本部艇での準備

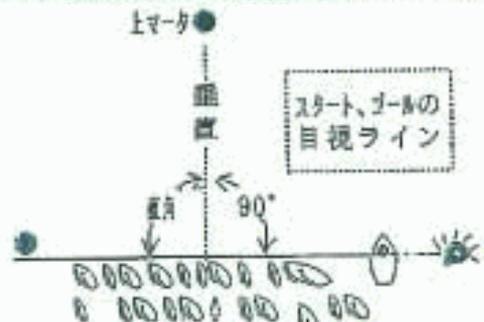
スタート地点到着迄に準備

- ◆ 準備する内容
 - ◎道具類の積み込み忘れが無い再点検
 - ◎マークブイに電動ポンプで空気入れ
 - ◎旗竿のセット・旗類の取り付け
 - ◎電動ホーンの取付け・テスト鳴らし
 - ◎担当役目の決定とシミュレーション実施
信号旗の上げ下げ・音響手順を全員で確認し合う、特に延期・リコール・ゼネリコ時も。



スタートラインの設定

- ◆ ライン長さは、概ね下記の通り(本部艇は右位置)
 - 20艇……80m (40~50分前には準備完了の事)
 - 30艇……100m
 - 40艇……150m
 - 50艇……200m



スタート前の確認

- ◆ スタート前……参加艇確認をする(レース終了確認に必要)
スピーカーで、艇名・セルNoの復唱・記録、ライフジャケット着用・ライフブイ装着・ビスカ旗掲揚・の確認。
特に、ライフジャケット未着用には厳しく指摘、指導する事。
- ◆ 参加料の受取り……未納艇や飛込参加の当日支払いは1000円増しで受取り。

スタート延期

- ◆ 準備遅れ、完全無風・強風・・・などで定刻スタートが無理と判断すれば延期とする。
(過去には、交通渋滞・藻、水位異常などで多艇遅刻で延期とした事例も有り)
延期の決定……………AP旗上げ……………1声(5秒)
スタートの6分前……………AP旗下げ……………1声(5秒)

関係信号旗

AP旗 (延期)		青旗 (1分)	
ビッス旗 (5分前)		S旗 (1分前)	
P旗 (4分前)		L旗 (旗まれ)	
X旗 (1分)		N旗 (中止)	
第1代表旗 (1分)		赤旗 (事故)	

スタート信号

- 5分前(予告信号)……………ビッス旗上げ……………1声(5秒)
- 4分前(準備信号)……………P旗上げ……………1声(5秒)
- 1分前(1分信号)……………P旗下げ……………1声(5秒)
- スタート時(スタート信号)……………ビッス旗下げ……………1声(5秒)

リコール信号

- スタート直後(リコール信号)……………X旗上げ……………1声(5秒)
- ◆ リコール艇の定義……………スタート時、艇体・セール・人体…の一部でもラインに掛かっていたらリコール。
- ◆ 艇数のみスピーカーで通告する……………「リコール艇何艇あり」とだけ。
- ◆ X旗の下げは(音響不要)……………全リコール艇が復帰(OK合図はしない事)又は5分経過後。
- ◆ リコール艇の復帰は、本部艇が目視確認してのみ解消(有効)……………見張り確認の事
- ◆ リコール艇のゴール時は……………音響無し・参考時間として記録・「リコールでした」と通知する。

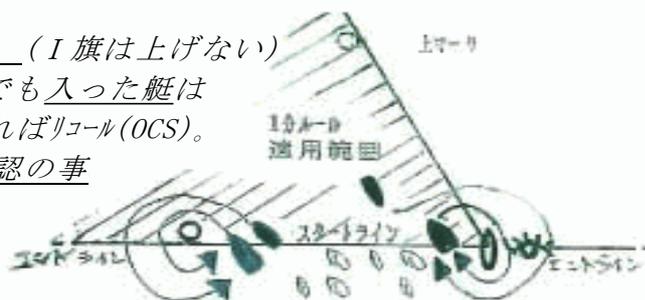
ゼネラルリコールと再スタート信号

10分後が再スタート時間

- スタート直後(ゼネリコ信号)……………第1代表旗上げ……………短音5~10声(ゼネリコゼネリコと連呼)
- 5分前(予告信号)……………ビッス旗上げ……………1声(5秒)
同……………第1代表旗下げ
- 4分前(準備信号)……………P旗上げ……………1声(5秒)
- 1分前(1分信号)……………P旗下げ……………1声(5秒)……………これより1分ルール摘要
- スタート時(スタート信号)……………ビッス旗下げ……………1声(5秒)……………リコール艇を記録する
- ◆ ゼネラルリコールとする条件……………リコール艇が多く確認不能・又は本部艇に誤りが有った場合。
(多数リコール艇有っても、確認出来る艇のみ記録しリコール対応とする・極力ゼネリコとしない事)

ゼネリコ 1分ルール適用

- ◆ 1分ルール……………ラウンド・アン・エンド・スタートを適用とする。(I旗は上げない)
再スタート前1分以内に、右図適用内に居た艇、瞬間でも入った艇はスタートラインの両端エンドラインを逆通過してスタートしなければリコール(OCS)。適用艇の記録及びマーク外回り再スタートするか目視確認の事



レース時間 (タイムリミット)

- ◆ スタート延期・ゼネリコが有った場合……………
ポイントレース……………スタート延期の分だけ延長とする(所要00分と記載するので…)。
その他レース……………スタート延期に関らずタイムリミットの変更は無し。

コース短縮・ゴールラインの設定

- ◆ コース短縮の必要性……………ビスカレースは大型/小型・早い/遅い艇の参加で、かなりの時間差となる為、全艇ゴール出来る様にと早めの判断、短縮とする事(安全の為、強風短縮も有り)。
- ◆ 短縮位置……………最下位艇の現在位置と、艇速を考えて決定(迷い有れば関係者に互相談されたし)。回航マーク位置、又はコースライン上何れかの地点での短縮OK。
- ◆ ゴールライン……………50m以内・声の届く間隔・本部艇は右位置・強風時はエンジン定位置確保の事。
- ◆ 信号旗……………定位置ゴール……………青色旗(ゴール旗)
短縮ゴール……………青色旗(ゴール旗)とS旗(短縮旗)
- ◆ ゴール記録……………艇体又はセールの先端がラインに掛った瞬間、短音1声……………秒単位で記録する。